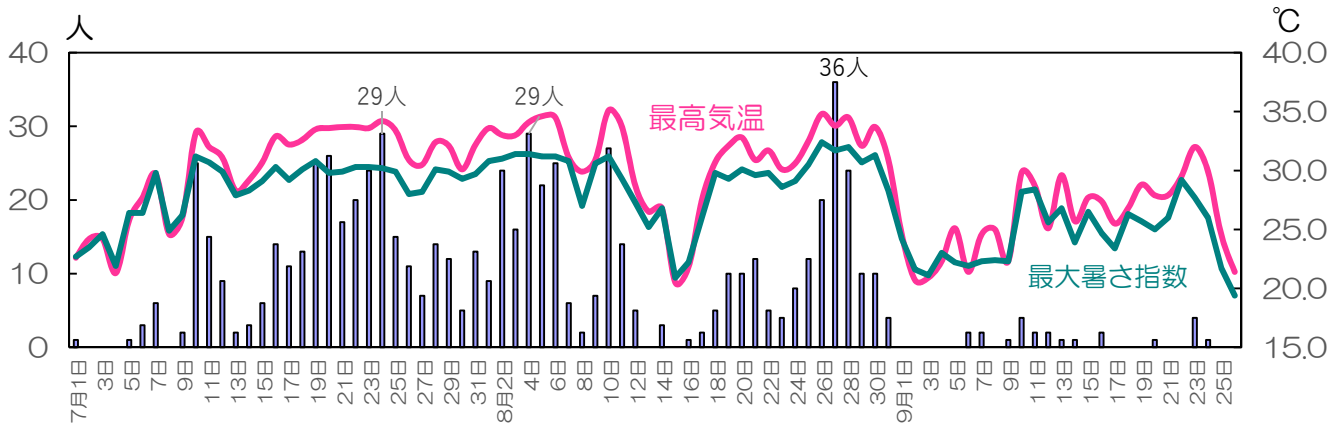


熱中症情報

<搬送数>

令和3年5月1日～9月26日までの搬送数（消防局データを使用）は、計775人（5月19人、6月42人、7月329人、8月362人、9月23人）でした。8/25～30は、最高気温が32℃以上で、搬送数も1日あたり10人以上（8/27は36人）でしたが、9月に入り、気温が下がり肌寒い日が続き、搬送数は減少しています。涼しくなり、夏の疲れが出る頃です。体調管理に気をつけましょう。

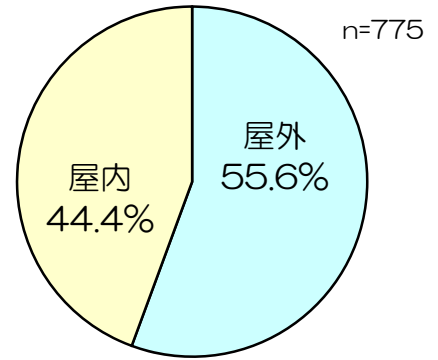
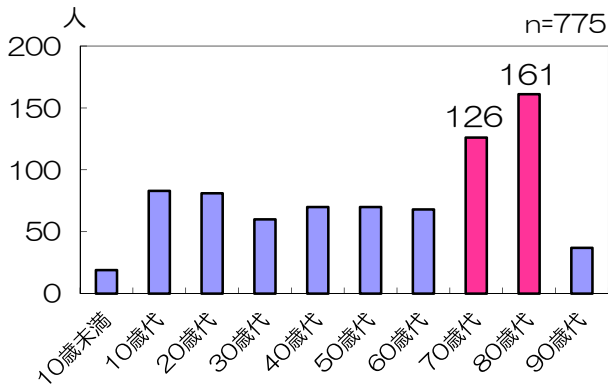
まだ、気温が高い日があると思われるので、新型コロナウイルス感染拡大の防止とともに、熱中症予防（こまめに水分を取り、室温を適切に調節）にも心掛けましょう。



暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①温度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト 暑さ指数(WBGT)とは？」をご覧ください。

以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

<年齢別> 80歳代が161人(20.8%)で最も多く、<発生場所> 屋外55.6%、屋内44.4%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度> 軽症59.4%、中等症36.5%、重症3.0%、重篤1.2%でした。高齢者(65歳以上)の中等症以上の割合が58.0%と、高くなっており、高齢者に重症化する傾向がみられます。

